

科目名 (科目番号)	物理療法学実習 (最下段に表示)	教員名 深谷隆史	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		火・3	A310研究室(深谷)	
授業概要	各種の物理的刺激に対する生体の反応を基本的知識として、物理療法の基礎を理解するとともに、各種物理療法機器を被験者の安全に配慮して正しく操作できるように各種物理療法に関して、1. 学生グループ内で治療者と患者の役を演じ、実習を行う。2. 各種測定機器を用いて、生体に起こる反応を測定し、物理療法の効果を定量的に判定する。3. 模擬症例に即した物理療法の選択方法について学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	電気刺激療法	到達目標:電気刺激療法概要・原理・使用方法について理解する。 学習内容:電気刺激療法の概要・原理・使用方法について学習する。				
	2	牽引療法	到達目標:牽引療法概要・原理・使用方法について理解する。 学習内容:牽引療法の概要・原理・使用方法について学習する。				
	3	極超短波療法の効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:極超短波機器を使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	4	超音波療法の効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:超音波療法機器を使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	5	光線療法の効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:光線療法機器を使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	6	ホットパック・パラフィンの効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:ホットパック・パラフィンを使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	7	電気刺激療法の効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:電気刺激療法機器を使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	8	牽引療法の効果判定	到達目標:具体的な症例を設定し、運動療法と関連付けた模擬治療計画を立案することができる。 学習内容:牽引療法機器を使用し得られた結果から、効果判定を行う。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	授業内レポート(80%) + 授業内小テスト(20%)						
教科書	物理療法学 第2版		松澤正 江口勝彦 監修		金原出版		
参考図書	理学療法学テキストIX 物理療法 第2版 物理療法学テキスト 改訂第2版						
教員からのメッセージ	授業内で小レポートを行います。小レポートはコメントを付して授業内で返却します。 科目番号 Aクラス:062153 Bクラス062163						